

諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定の概要

政策振興部 地方創生室

1. まち・ひと・しごと創生法の概要

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるなど、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生を総合的かつ計画的に実施する。

まち・ひと・しごと創生本部

本部長
内閣総理大臣
副本部長
内閣官房長官
地方創生担当大臣
本部員
上記以外の全閣僚



策定

まち・ひと・しごと創生 総合戦略(閣議決定)



内容:まち・ひと・しごと創生に関する目標や施策に関する基本的方向等

参考にする

都道府県
市町村

地方版まち・ひと・しごと創生
総合戦略の策定(努力義務)

2. 地方創生(まち・ひと・しごと創生)のイメージ図

- ①急速な少子高齢化にしっかり対応できるように、人口減少に歯止めをかける
- ②東京圏への一極集中を改め、それぞれの地域で住みよい環境をつくる



将来にわたって
活力ある日本社会を
維持していく

一体的に推進する

まち

一人ひとりが希望を持ち、潤いのある豊かな暮らしが安心してできる



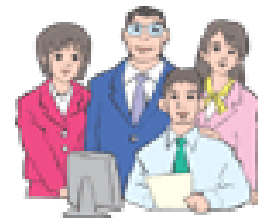
ひと

地域で活躍し、地域づくりを担う人材を育む



しごと

若者が魅力を感じるやりがいのあるしごとをつくる



3. まち・ひと・しごと創生法の特徴

特徴

- ①「人口減少の歯止め」と「東京一極集中の是正」を明記
- ②KPI(成果目標・重要業績評価指標)の設定
客観的な指標を設置することで、目標が具体化される
- ③PDCAサイクルの確立
客観的な効果検証を実施し、改善を図る

KPI(重要業績評価指標)について

KPI(Key Performance Indicator)

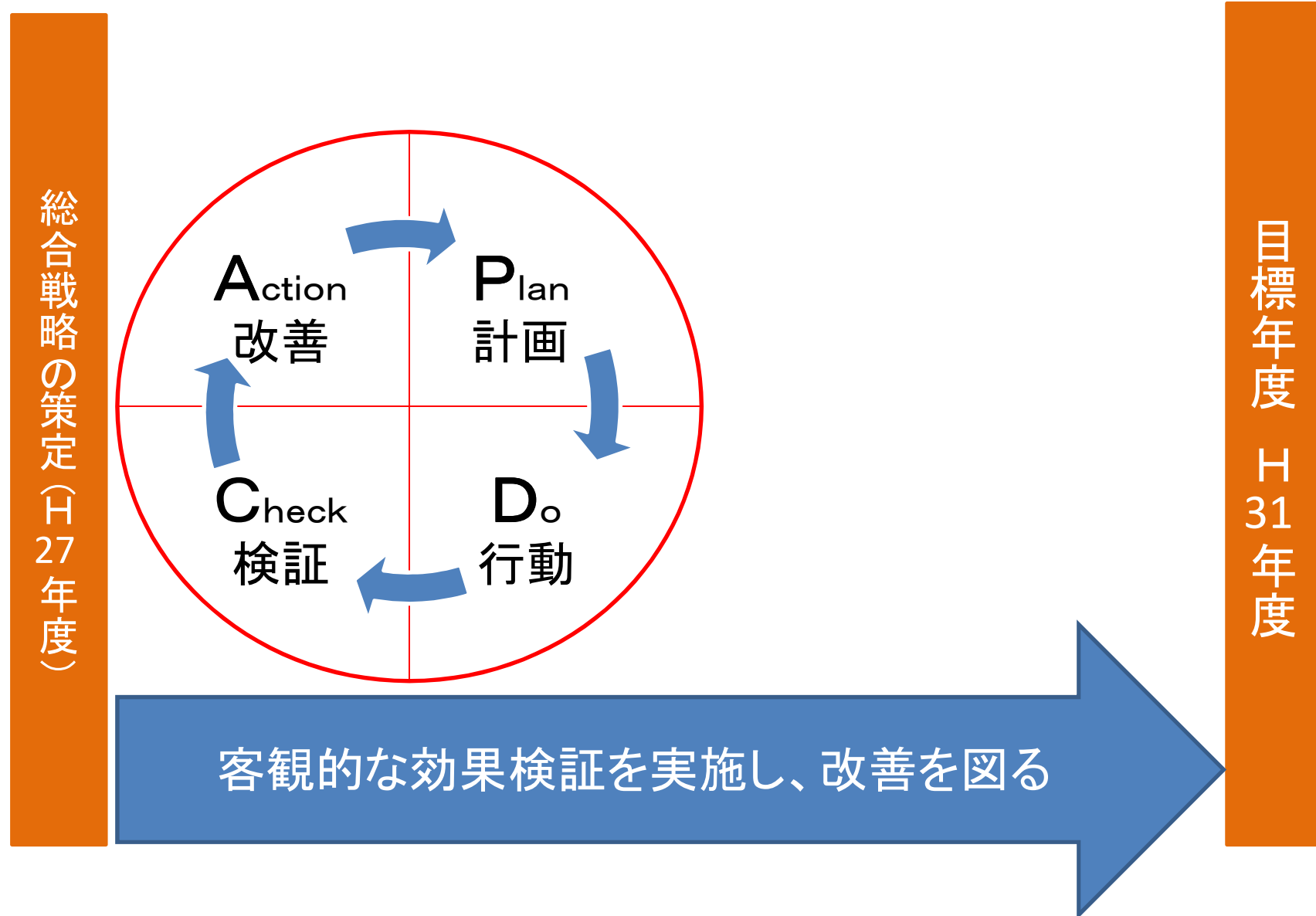
地方版総合戦略には、盛り込む政策分野ごとに5年後の基本目標を設定します。この基本目標には、行政活動そのものの結果(アウトプット)ではなく、その結果として住民にもたらされた便益(アウトカム)に関する数値目標を設定する必要があります。

例) 夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生率の割合が高いため、働き方を変える事業の「KPI」は

「ワーク・ライフ・バランスのチラシを作成します」(アウトプット: 事業量)

「男性の育児休業取得率を10%向上させます」(アウトカム: 効果・成果)

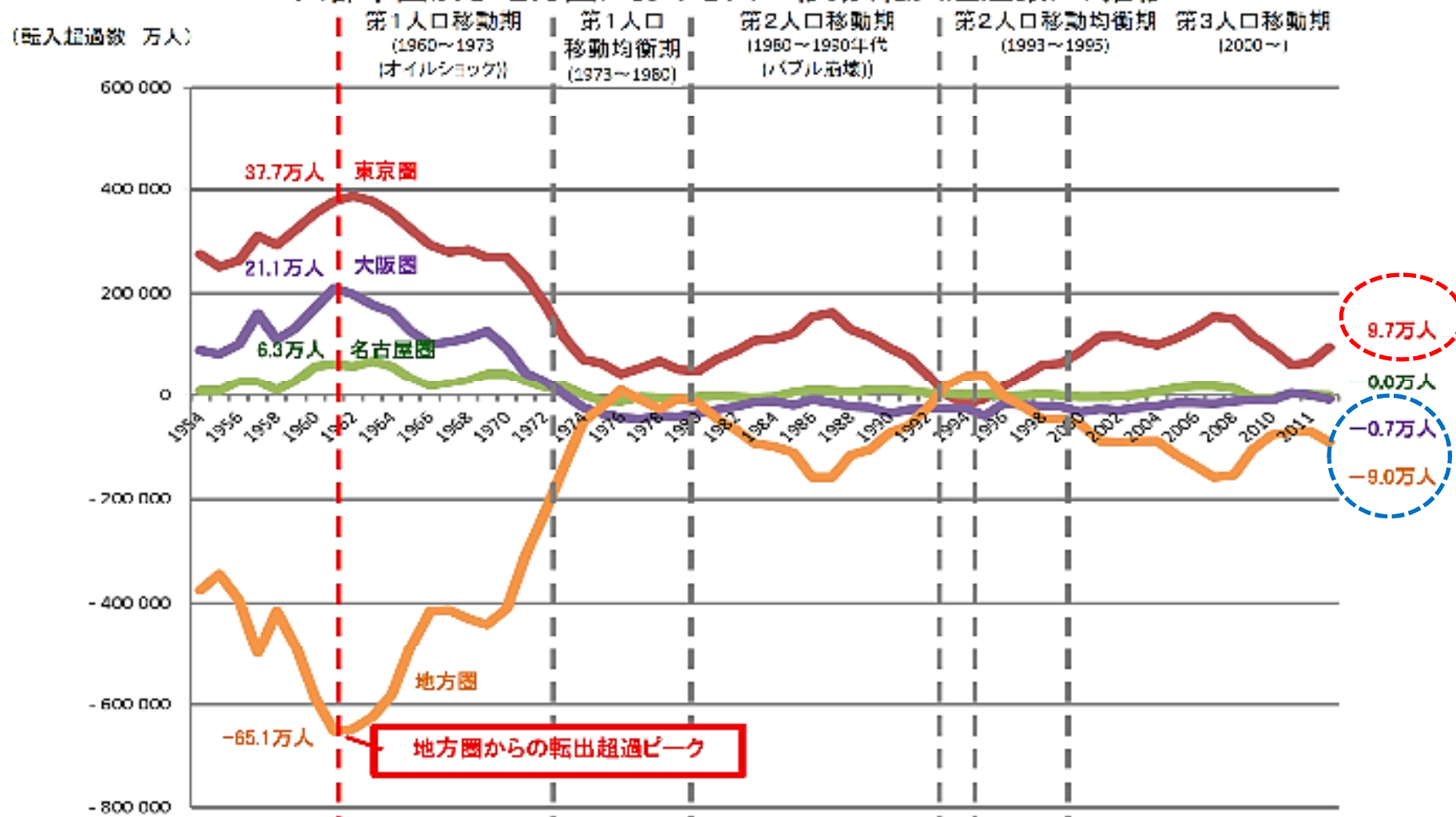
PDCAサイクルについて



4. 人口移動の推移（東京圏への一極集中）

○ これまで3度、地方から大都市（特に東京圏）への人口移動が生じてきた。

三大都市圏及び地方圏における人口移動（転入超過数）の推移



(出典)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

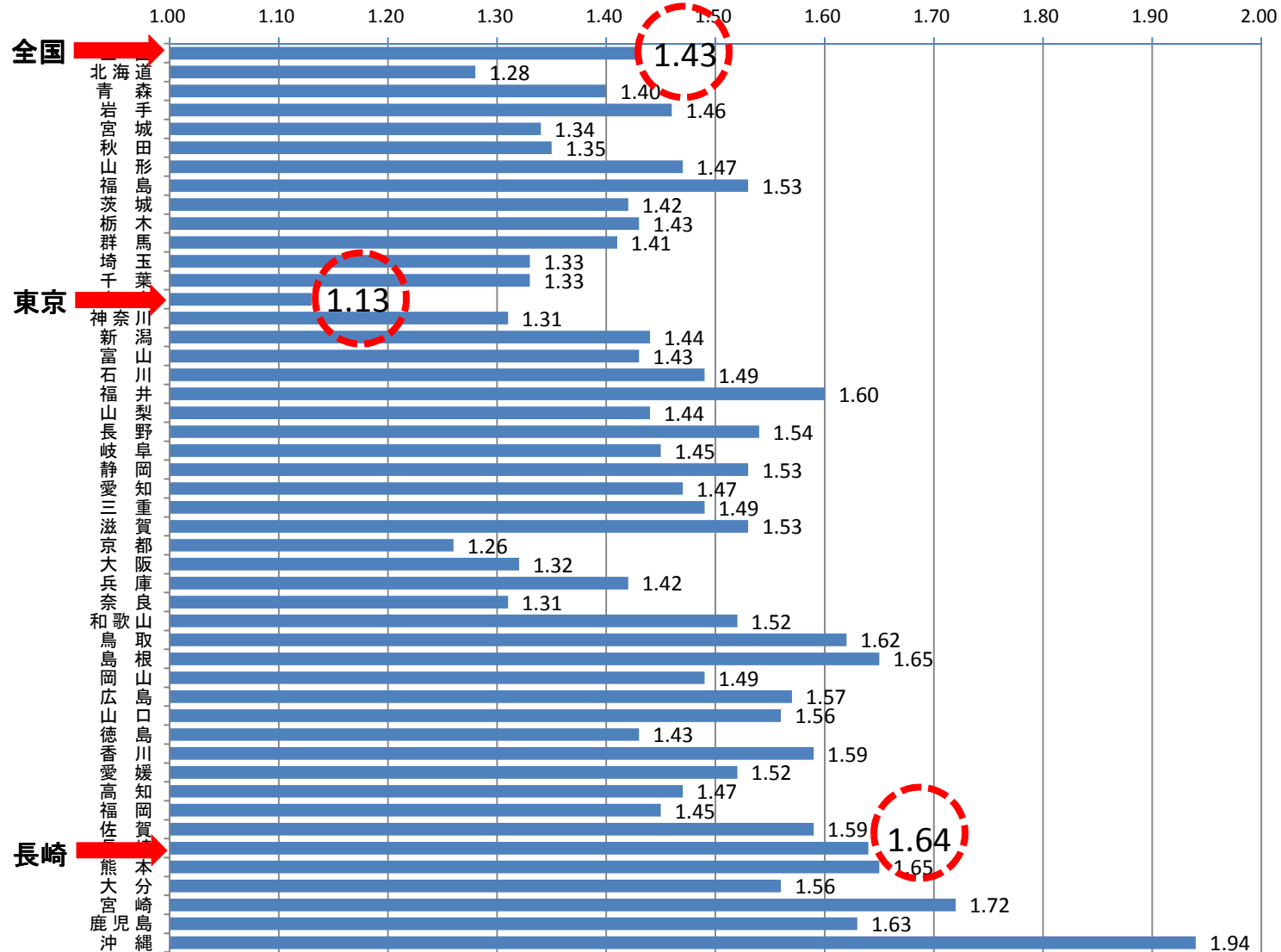
(注)上記の地域区分は以下の通り。

東京圏:埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 名古屋圏:岐阜県、愛知県、三重県 大阪圏:京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

三大都市圏:東京圏、名古屋圏、大阪圏 地方圏:三大都市圏以外の地域

5. 都道府県別の出生率

○ 一都三県(東京、埼玉、千葉、神奈川)、特に東京の出生率は極めて低い。



資料出所: 厚生労働省「平成25年人口動態統計月報年計」

6. 人の流れを変える

